

見学会「災害派遣の現場から学ぶリスクマネジメント講座 ～災害派遣で活躍する自衛隊を見学しよう～」報告

平成21年7月14日(火)10～14時、陸上自衛隊練馬駐屯地において表記の見学会を開催しました。参加者は予定していた定員を超える57名。受入れ人数の都合によりお断りするほど多数の応募をいただきまして、災害派遣に対する関心の高さをうかがい知ることが出来ました。

はじめに第1後方支援連隊の齋藤連隊長からの挨拶があり、続いて中根副連隊長による「災害派遣関連講話」。自衛隊のこれまでの歩みから、災害が発生した現場での人命救助から生活支援そして復旧支援への流れ、自衛隊の出動要件となる「緊急性」「公共性」「非代替性」についての説明や、自衛隊の最たる特徴である「自己完結型」組織の強みと役割、自衛隊を取り巻く法的枠組み、そして大規模地震を想定した地震対処計画などについて、たいへん良く整理されたデータとともに貴重な話を聞かせていただきました。特に、副連隊長ご自身の経験から得られた教訓や、現場の視点から実現が望まれる機器装置のアイデアなどについては、防災や災害対策を考えるうえで貴重なヒントになるのではないかという感じがしました。

その後、災害派遣関連装備の展示・説明へ。屋外に展開された車輛や装備品など、それぞれの専門ごとに配された説明員からの丁寧な説明とともに見学させていただきました。本見学会では、様々な分野の専門家が横断的に集まって参加されていますので、それぞれに興味の対象が異なり、説明員への質問の内容も多岐に渡っていたことが大変興味深かったです。

そして昼食。広い隊員食堂で他の自衛官の方々に交じって同じメニューをいただきました。しかし、そこはエネルギーな現役自衛官の体を考えたカロリー設定。ボリューム満点のカレーを食すのに参加者の皆様は一苦労といったところでした。

午後からは、災害派遣を経験された隊員との質疑応答の時間。参加者からの質問に、実際の現場での経験談を交えながら一つひとつ丁寧に答えていただきました。参加者の熱心な質問は尽きること無く盛り上がる中、大変心苦しくもありましたが時間により終了とさせていただきました。

参加者からは「普段見られない所が見学できてよかった。」「自衛隊の活動内容や装備を知ることができ興味深く、また、心強く感じた。」「『知る』ことの重要性を感じました。」などの感想が多数寄せられ、参加者全員それぞれに満足していただけた様子でした。

最後は副連隊長の御厚意により施設内売店で買い物をする時間を設けていただくというおまけまで付きまして、大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。



< 齋藤連隊長からの挨拶 >



< 中根副連隊長による災害派遣関連講話 >



< 装備品見学会風景 >



< 救急車 >



< 隊員が用いる装備品の数々 >



< 油圧式カッターを体験 >



< ボリューム満点の昼食 >



< 隊員への質疑応答風景 >

本見学会の開催にあたりまして、梅雨明けの炎天下の中お集まりいただきました参加者の皆様、そして、開催までの調整をしていただきました第1師団広報担当者様、見学会を主担当していただきました第1後方支援連隊をはじめとする関係各位に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(文責：事業企画委員 古川裕紀 ヤクモ株式会社)